●民生費
高齢者孤独解消ロボット購入費補助金

問 事業の内容を伺う。

答 1人暮らし高齢者を対象にコミュニケーションロボットの購入費の2分の1、上限3万円の補助を行う。

問 効果について伺う。

答 会話をすることは孤独解消のみならず認知症予防にもつながると考える。しかし、コミュニケーションが苦手な人もいるため、ロボットが一助となることを期待する。見守り機能等を持つものもあり、離れた場所で暮らす家族の心配事を軽減する効果も期待できる。

●衛生費
(仮)地域看護学専攻設置推進事業費

問 本事業の概要は。

答 名古屋市立大学による、蒲郡市立ソフィア看護専門学校の施設を活用した、地域看護学専攻(仮称)の設置及び運営準備を進めていくものである。

問 事業の経緯は。

答 令和6年2月から、名古屋市立大学と相談を始めている。7年1月からは設立団体である名古屋市にも依頼をしていたものである。

問 事業費の内訳は。

答 人件費が約4500万円、研究、教育研究費が約110万円、教職員の旅費が140万円、広報費が約500万円と試算している。

●商工費
道の駅導入可能性調査委託料

問 本委託料の目的は。

答 道の駅は、道路利用者の休息施設だけではなく、産業振興についても集客力や影響は大きく、道の駅の設置は有効な手段であると考える。しかし、魅力ある道の駅にするには、多角的に、コンセプトやねらいを明確にし、優先順位や投資効果を図り、事業の採算性等を検討する必要がある。これらを踏まえ、導入ありきでなく、今後の様々な可能性を検討する費用である。

●消防費
感震ブレーカー設置事業費補助金

問 補助額の上限を1万円と定めた理由は。

答 種類や製品によって価格は様々だが、既存家屋に設置する代表的な機器は約2万円と思われる。他市等の状況も参考にしたうえで、補助額は、購入費の2分の1に相当する上限1万円で補えるのではと考える。

問 感震ブレーカーを設置することの効果は。

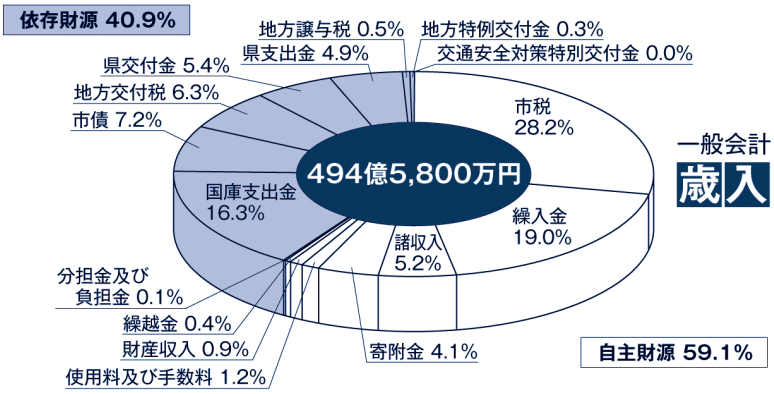
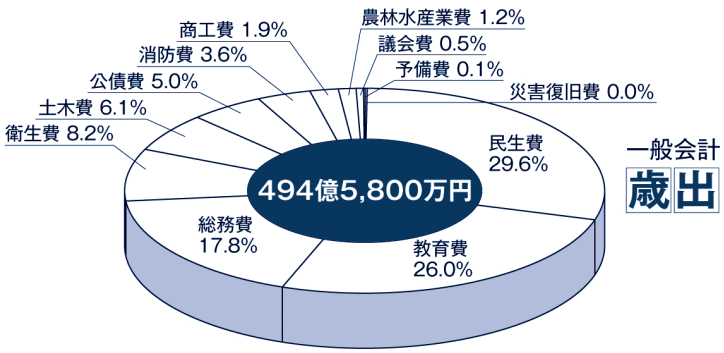
答 感震ブレーカーは、地震発生時に一定以上の揺れを感知するとブレーカーを落とし電気を遮断する。機器の設置により、電気が復旧した際の通電による火災を防ぐことができる。

●教育費
アジア・アジアパラ競技大会関連事業費

問 事業費の内訳は。

答 大きく分けて3つの事業を実施する。1つ目に、アジアの国の文化を学びながら、大会を知ってもらう市民向けの講演会に200万円。2つ目に、市内小中学校の学校給食で、アジアの国の食文化を学ぶため、アジアの特徴ある料理の提

■令和7年度予算

(単位:万円)

会計別			予算額	前年度比
一般会計			494億5,800	16.1%増
特別会計	国民健康保険事業		77億2,830	2.8%減
	後期高齢者医療事業		28億3,310	9.7%増
	土地区画整理事業		8億8,730	0.3%増
	公共用地対策事業		1億7,150	49.1%減
	三谷町財産区		3,910	32.1%増
	西浦町財産区		1,470	0.7%増
	小計		116億7,400	1.1%減
企業会計	水道事業	収益的	21億1,950	8.6%増
		資本的	29億790	16.1%増
	下水道事業	収益的	28億3,750	10.7%増
		資本的	44億2,610	23.4%増
	病院事業	収益的	113億230	4.0%増
		資本的	18億8,400	15.8%増
	モーターボート競走事業	収益的	1,809億4,900	9.9%増
		資本的	38億2,160	29.8%増
	小計		2,102億4,790	10.2%増
合計			2,713億7,990	10.7%増